2026 年 11 月 6 日

株式会社あいち銀行

愛知大学留学生・JICA 研修員による輸出促進テイスティングを開催しました
～ 愛知の食品 3 社が、アジア・フロンティア市場への輸出を目指して試食評価に挑戦 ～

株式会社あいち銀行（代表取締役頭取　鈴木 武裕）は、学校法人愛知大学（理事長・学長　広瀬 裕樹）、農林水産省東海農政局（局長　小峰 賢哉）、独立行政法人国際協力機構（JICA、理事長　田中 明彦）とともに、「グローバル市場へ販路開拓をめざせ!!～愛知大学留学生・JICA 研修員による輸出促進テイスティング～」を開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

イベントでは、愛知大学の留学生および JICA 研修員が、輸出や海外販路拡大を目指すお客さまの商品を試食し、中国をはじめとする海外に向けた商品展開の課題や改善点等について、意見交換を行いました。

なお、本イベントは 2027 年 5 月に名古屋で開催される「第 60 回アジア開発銀行年次総会」のパートナーシップ事業として認定されています。

当行は本取組みを通じ、国際交流を促進するとともに、地域のお客さまの海外展開を支援し、愛知・名古屋から世界へつながる取組みを広げてまいります。

記

1. 開催概要

日　　時	2026 年 11 月 5 日（木）12：45～16：00
会　　場	愛知大学　名古屋キャンパス
内　　容	➢　参加企業によるプレゼンテーション・商品紹介 ➢　留学生・研修員による試食および企業関係者とのディスカッション
参 加 企 業	アジア・フロンティア市場で自社製品の輸出を目指すお客さま 3 社
参 加 者 数	計 23 名 ・中国、韓国、ベトナム、ミャンマー、タイ出身の愛知大学への留学生 15 名 ・ラオス、スリランカ、ガーナ、ルワンダ、ウズベキスタン、ウガンダより来日の JICA 研修員 8 名
共　　催	株式会社あいち銀行、学校法人愛知大学国際ビジネスセンター、 農林水産省東海農政局、独立行政法人国際協力機構（JICA 中部センター）
後　　援	株式会社栄町リサーチ＆コンサルティング

2. 愛知大学留学生および JICA 研修員からの主なコメント

- 中国では甘さ控えめのスイーツが好まれる傾向を踏まえ、ケーキの甘さを少し調整すれば、より多くの人に受け入れられる可能性がある。
- 漬物はパッケージが日本らしく、そのまま食べた味が好みだった。
- 国際経営と国際マーケティングを学んでおり、授業で得た知識を今回の試食会で実際に活かすことができた。
- 日本に来てから味噌汁は 2 回飲んだが、今回のものを気に入った。

3. 参加企業の感想

- 抹茶の濃さや甘さ、提案方法を調整する必要があることを学んだ。価格、味など、消費者目線の回答を海外ではなく日本で得られることに価値があった。
- 試食前は反応を心配していたが、そのまま食べてもおいしいという評価に安堵した。一方で、守口漬けはチーズと合わせた方がおいしいという声がより多かったため、海外の人に知ってもらう方法や食べ方を考える際に参考にしたい。
- 商品の強み弱みだけでなく、各国のマーケット視点からの改良案を頂いた。当初はスープの代替を考えていたものの、味噌そのものを別の商品・料理に活用する意見が参考になった。

4. 参加企業概要・当日の様子（順不同）

企 業 名	株式会社亀屋芳広
商　　品	尾張ロール
本　　社	愛知県名古屋市熱田区伝馬 1 丁目 4-7
事業内容	和菓子・洋菓子の製造販売
U R L	https://www.kameya-yoshihiro.co.jp/



企 業 名	株式会社 扶桑守口食品
商　　品	守口漬・奈良漬等
本　　社	愛知県丹羽郡扶桑町大字山那字屋敷地 757
事業内容	守口漬・各種奈良漬製造販売
U R L	https://www.fusomoriguchi.co.jp/



企 業 名	中利株式会社
商　　品	フリーズドライ味噌汁
本　　社	愛知県半田市協和町 1 丁目 31
事業内容	豆みそ、たまりしょうゆ等の製造販売
U R L	https://nakari100.co.jp/



以　上